

1

- 次の取引の仕訳を示しなさい。
- a. 沖縄工業株式会社の素材に関する資料は次のとおりであった。よって、予定価格による消費高と実際価格による消費高との差額を素材勘定から材料消費価格差異勘定に振り替えた。ただし、素材の予定価格は @¥480 であり、実際消費単価の計算は先入先出法によっている。
- | | | | |
|--------|--------|---------|------------|
| 前月繰越高 | 1,800個 | @¥440 | ¥ 792,000 |
| 当月仕入高 | 7,200" | " " 500 | ¥3,600,000 |
| 当月消費数量 | 8,000" | | |
- b. 個別原価計算を採用している香川製作所は、当月分の水道料の消費高 ¥215,000 を計上した。ただし、このうち20%は販売部の消費高として、販売費および一般管理費勘定で処理する。
- c. 等級別総合原価計算を採用している徳島工業製作所において、1級製品900個と2級製品1,500個が完成するとともに副産物が発生した。ただし、総合原価は ¥1,920,000 であり、そのうち副産物の評価額は ¥165,000 であった。なお、等価係数は次の各製品/個あたりの重量を基準としている。
- | | | | |
|---------|------|---------|------|
| 1 級 製 品 | 800g | 2 級 製 品 | 300g |
|---------|------|---------|------|
- d. 単純総合原価計算を採用している愛媛製作所は、かねて製品6,000個を @¥3,500 で掛け売りしていたが、本日、そのうち60個が返品されたので、売上高および売上原価を修正した。なお、この製品の払出単価は ¥2,700 であった。
- e. 高知工業株式会社は、月末にあたり、工程別総合原価計算表を作成し、各工程の完成品原価を次のとおり計上した。ただし、当社は第1工程の完成品原価をすべて第2工程製造勘定に振り替えている。
- | | | | |
|---------|------------|----------------|------------|
| 第 1 工 程 | ¥4,890,000 | 第 2 工 程 (最終工程) | ¥5,370,000 |
|---------|------------|----------------|------------|
- f. 工場会計が独立している福岡工業株式会社の本社は、工場から燃料 ¥131,000 を買い入れたとの報告を受けた。ただし、この代金は本社が月末に支払う契約であり、製造活動に関する勘定は工場のみには設けている。(本社の仕訳)

2

- 佐賀製作所は、個別原価計算を採用し、A製品（製造指図書#1）とB製品（製造指図書#2）を製造している。下記の資料によって、次の各問いに答えなさい。
- (1) 製造部門費を予定配賦したときの仕訳を示しなさい。
- (2) 部門費振替表を直接配賦法によって完成しなさい。
- (3) 製造部門費配賦差異勘定を完成しなさい。
- (4) A製品（製造指図書#1）の原価計算表を完成しなさい。
- ただし、i 月初仕掛品はなかった。
- ii 賃金の消費高の計算には、予定賃率を用いている。
- iii 製造間接費は部門別計算をおこない、機械運転時間を基準として予定配賦している。

資 料

- a. 年間予定賃金総額および年間予定総作業時間
- | | |
|-----------|-------------|
| 年間予定賃金総額 | ¥32,400,000 |
| 年間予定総作業時間 | 27,000時間 |
- b. 年間製造間接費予定額および年間予定機械運転時間
- | | | |
|------------|------------|------------|
| | 第1製造部門 | 第2製造部門 |
| 年間製造間接費予定額 | ¥6,272,000 | ¥7,540,000 |
| 年間予定機械運転時間 | 9,800時間 | 13,000時間 |
- c. 製造部門の当月直接作業時間および当月機械運転時間
- | | | | | |
|---------|--------|--------|--------|--------|
| | 第1製造部門 | | 第2製造部門 | |
| | 直接作業時間 | 機械運転時間 | 直接作業時間 | 機械運転時間 |
| 製造指図書#1 | 750時間 | 450時間 | 600時間 | 650時間 |
| 製造指図書#2 | 550時間 | 350時間 | 100時間 | 450時間 |
- d. 補助部門費の配賦基準
- | | | | |
|---------|-----------|------------|--------------|
| | 配 賦 基 準 | 第1製造部門 | 第2製造部門 |
| 動力部門費 | kW数×運転時間数 | 12kW×800時間 | 20kW×1,100時間 |
| 修繕部門費 | 修 繕 回 数 | 2回 | 3回 |
| 工場事務部門費 | 従 業 員 数 | 9人 | 5人 |
- e. 完成品数量 A製品（製造指図書#1） 35個

3

- 次の各問いに答えなさい。
- (1) 長崎工業株式会社における下記の資料により、製造原価報告書および損益計算書に記載する次の金額を求めなさい。
- a. 当期材料費 b. 当期経費 c. 売上原価
- 資 料
- | | | | |
|---------|------------------------------------|------------------|----------------|
| ① 素 材 | 期首棚卸高 ¥ 164,000 | 当期仕入高 ¥1,234,000 | 期末棚卸高 ¥128,000 |
| ② 工場消耗品 | 期首棚卸高 ¥ 24,000 | 当期仕入高 ¥ 350,000 | 期末棚卸高 ¥ 37,000 |
| ③ 賃 金 | 当期予定消費高 ¥2,080,000 | | |
| | 賃率差異勘定の借方残高 ¥50,000 を売上原価勘定に振り替える。 | | |
| ④ 給 料 | 当期消費高 ¥ 450,000 | | |
| ⑤ 外注加工賃 | 前期前払高 ¥ 28,000 | 当期支払高 ¥ 147,000 | 当期前払高 ¥ 34,000 |
| ⑥ 電 力 料 | 当期支払高 ¥ 216,000 | 当期測定高 ¥ 210,000 | |
| ⑦ 減価償却費 | 当期消費高 ¥ 330,000 | | |
| ⑧ 仕 掛 品 | 期首棚卸高 ¥ 830,000 | 期末棚卸高 ¥ 720,000 | |
| ⑨ 製 品 | 期首棚卸高 ¥1,352,000 | 期末棚卸高 ¥1,430,000 | |
- (2) 大分工業株式会社は、直接原価計算をおこない利益計画をたてている。下記の資料から、次の金額または数量を求めなさい。
- a. 販売数量が5,000個のときの営業利益 b. 損益分岐点の売上高
- c. 目標営業利益 ¥600,000 を達成するための販売数量
- 資 料
- | | | | |
|-----------|----------|---------------|----------|
| ① 販 売 価 格 | @¥1,200 | ③ 販売費および一般管理費 | |
| ② 製 造 費 用 | | 変 動 販 売 費 | @¥180 |
| 変 動 製 造 費 | @¥720 | 固定販売費および一般管理費 | ¥360,000 |
| 固定製造間接費 | ¥675,000 | | |

	借方	貸方
a		
b		
c		
d		
e		
f		

(1)	借	方	貸	方

部 門 費	配 賦 基 準	金 額	製 造 部 門		補 助 部 門		
			第 1 部 門	第 2 部 門	動 力 部 門	修 繕 部 門	工 場 事 務 部 門
部 門 費 合 計		1,153,000	360,000	422,000	158,000	115,000	98,000
動 力 部 門 費	kW数×運転時間数						
修 繕 部 門 費	修 繕 回 数						
工 場 事 務 部 門 費	従 業 員 数						
配 賦 額 合 計							
製 造 部 門 費 合 計							

前	月	繰	越	8,000	(		)	(		)	
(		)	(		次	月	繰	越	(		)
			(						(		)

製造間接費								集計	
直接材料費 2,790,000	直接労務費	製 造 間 接 費							
		部 門	時 間	配賦率	金 額	摘 要	金 額		
							直 接 材 料 費		
							直 接 労 務 費		
							製 造 間 接 費		
							製 造 原 価		
					完 成 品 数 量	35個			
					製 品 単 価	?			

(1)	a	当期材料費 $\mathcal{L}$	b	当期経費 $\mathcal{L}$	c	売上原価 $\mathcal{L}$
-----	---	---------------------	---	--------------------	---	--------------------

(2)	a	販売数量が5,000個の ときの営業利益	b	損益分岐点の 売上高	c	目標営業利益600,000 を達成するための販売数量	個
-----	---	-------------------------	---	---------------	---	-------------------------------	---

原計の1得点

原計の1得点

(3)

a	完成品の標準原価 ¥	b	能率差異 ¥ ()	c	操業度差異 ¥ ()
---	------------	---	------------	---	-------------

(4)

製品/個あたりの変動費 ¥

4

(1)

		借方	貸方
6月	3日		
	5日		
	7日		
	20日		
	25日		
30日	①		
	②		
	③		
	④		
	⑤		
	⑥		
	⑦		
	⑧		
	⑨		
	⑩		

(2)

組別総合原価計算表
平成〇年6月分

摘要		A組	B組
組直接費	素材費		
	加工費		
組間接費	加工費		
当月製造費用			
月初仕掛品原価	素材費	560,000	568,000
	加工費	148,000	168,000
計			
月末仕掛品原価	素材費		456,000
	加工費	282,000	
完成品原価			
完成品数量		2,000個	4,000個
製品単価		¥	¥

(3)

6月末の賃金未払高 ¥

1

	借	方	貸	方			
a	材料消費価格差異	52,000	素	材	52,000		
b	製 造 間 接 費	172,000	水	道	料	215,000	
	販売費および一般管理費	43,000					
c	1 級 製 品	1,080,000	製	造		1,920,000	
	2 級 製 品	675,000					
	副 産 物	165,000					
d	売	上	210,000	売	掛	金	210,000
	製	品	162,000				
e	第 2 工 程 製 造	4,890,000	第 1 工 程 製 造	第 2 工 程 製 造		4,890,000	5,370,000
	製	品					
f	工	場	131,000	買	掛	金	131,000

2	(1)	借	方		貸	方
		製	造	1,150,000	第1製造部門費	512,000
					第2製造部門費	638,000

(2) 部門費振替表
直接配賦法 平成○年6月分

部門費	配賦基準	金額	製造部門		補助部門		
			第1部門	第2部門	動力部門	修繕部門	工場事務部門
部門費合計		1,153,000	360,000	422,000	158,000	115,000	98,000
動力部門費	kW数×運転時間数	158,000	48,000	110,000			
修繕部門費	修繕回数	115,000	46,000	69,000			
工場事務部門費	従業員数	98,000	63,000	35,000			
配賦額合計		371,000	157,000	214,000			
製造部門費合計		1,153,000	517,000	636,000			

(3) 製造部門費配賦差異

前月繰越	8,000	(第2製造部門費)	(2,000)
(第1製造部門費)	(5,000)	次月繰越	(11,000)
	(13,000)		(13,000)

(4) 製造指図書Ⅱ/ 原価計算表

直接材料費	直接労務費	製造間接費				集計	
		部門	時間	配賦率	金額	摘要	金額
2,790,000	1,620,000	第1	450	640	288,000	直接材料費	2,790,000
		第2	650	580	377,000	直接労務費	1,620,000
					665,000	製造間接費	665,000
						製造原価	5,075,000
						完成品数量	35個
						製品単価	¥ 145,000

3	(1)	a	当期材料費 ¥ 1,607,000	b	当期経費 ¥ 681,000	c	売上原価 ¥ 4,900,000
---	-----	---	-------------------	---	----------------	---	------------------

(2)	a	販売数量が5,000個のときの営業利益 ¥ 465,000	b	損益分岐点の高 ¥ 4,140,000	c	目標営業利益 ¥ 600,000 を達成するための販売数量 5,450 個
-----	---	-------------------------------	---	---------------------	---	---------------------------------------

- (3)
- | | | | | | | | | |
|---|---------------|-----------|---|------|---------------|---|-------|---------------|
| a | 完成品の価
標準原価 | 7,600,000 | b | 能率差異 | ¥143,000 (不利) | c | 操業度差異 | ¥261,000 (不利) |
|---|---------------|-----------|---|------|---------------|---|-------|---------------|
- (4)
- | | | |
|-------------|---|-----|
| 製品/個あたりの変動費 | ¥ | 480 |
|-------------|---|-----|

4

(1)

		借	方		貸	方
6月 3日		A 組 製 造	3,150,000		素 材	3,150,000
5日		素 材 費	3,825,000		当 座 預 金	4,305,000
		工 場 消 耗 品	480,000			
7日		B 組 製 造	2,888,000		素 材	2,888,000
20日		外 注 加 工 賃	572,000		当 座 預 金	1,131,000
		電 力 料	307,000			
		保 険 料	252,000			
25日		賃 従 業 員 賞 与 手 当	1,792,000		所 得 税 預 り 金	172,000
			336,000		健 康 保 険 料 預 り 金	93,000
					当 座 預 金	1,863,000
30日	①	組 間 接 費	482,000		工 場 消 耗 品	482,000
	②	A 組 製 造	765,000		消 費 賃 金	1,710,000
		B 組 製 造	828,000			
		組 間 接 費	117,000			
	③	組 間 接 費	680,000		従 業 員 賞 与 手 当	680,000
	④	組 間 接 費	93,000		健 康 保 険 料	93,000
	⑤	A 組 製 造	249,000		外 注 加 工 賃	568,000
		B 組 製 造	319,000			
	⑥	組 間 接 費	1,028,000		電 力 料	315,000
					保 険 料	84,000
					減 価 償 却 費	629,000
	⑦	A 組 製 造	960,000		組 間 接 費	2,400,000
		B 組 製 造	1,440,000			
	⑧	A 組 製 品	4,800,000		A 組 製 造	4,800,000
		B 組 製 品	5,560,000		B 組 製 造	5,560,000
	⑨	消 費 賃 金	1,748,000		賃 金	1,748,000
	⑩	賃 率 差 異	38,000		消 費 賃 金	38,000

- (2)
- 組別総合原価計算表
- 平成〇年6月分

摘 要	A 組	B 組
組 直 接 費	3,150,000	2,888,000
素 材 費	1,014,000	1,147,000
加 工 費	960,000	1,440,000
組 間 接 費	5,124,000	5,475,000
当 月 製 造 費 用	560,000	568,000
月 初 仕 掛 品 原 価	148,000	168,000
加 工 費	5,832,000	6,211,000
計	750,000	456,000
月 末 仕 掛 品 原 価	282,000	195,000
加 工 費	4,800,000	5,560,000
完 成 品 原 価	2,000個	4,000個
完 成 品 数 量	¥ 2,400	¥ 1,390
製 品 単 価		

- (3)
- | | | |
|-----------|---|---------|
| 6月末の賃金未払高 | ¥ | 460,000 |
|-----------|---|---------|